
バケツに入ったヤマメの稚魚を馬淵川へ放流する児童たち

小さなヤマメを馬淵川へ放流
生き物の命の大切さを学ぶ

ヤマメの稚魚放流が10月７日、葛巻小学校近くの馬淵川河川敷で行われ、葛巻小学校１、２年生20人が放流体験を行いました。

児童たちは、バケツに入ったヤマメの稚魚を川へそっと放しながら「大きくなってね」と声を掛け、元気に泳ぐ姿を見守りました。前端柚羽（ゆずは）さん（１年）は「楽しく放流することができた。また来年も頑張りたい」と笑顔で話していました。児童たちは放流体験を通じて、身近な川や生き物の命の大切さについて学びました。


安全運転支援機能などの説明に耳を傾ける参加者の皆さん

安全運転サポート車を体験
安全運転への意識を高める

町交通安全対策協議会が主催し、岩手トヨペット㈱、損害保険ジャパン㈱、岩手警察署の協力のもと「安全運転サポート車体験会」が９月25日、くずま～る駐車場で実施されました。

参加者は安全運転支援機能を搭載した車両に乗車し、衝突防止被害軽減ブレーキなどの先進安全技術を体験。脳活動チェッカーや認知力シミュレーターを通じて、運転に必要な認知力や判断能力を体験し、安全運転への意識を高める機会となりました。

個性豊かな商品やサービスが集結
自分らしい仕事で新たな挑戦

くずまきDMO事業の「起業家育成支援セミナー」の受講生による「わたしごとマルシェ」が10月10日、Cafeやどり木と旧遠藤邸を会場に開催されました。

会場には、手づくりの雑貨や飲食物など、個性豊かな商品やサービスが並び、来場者でにぎわいました。受講生の鳩岡みどりさん（四日市）は「今日がゴールではなく、新たなスタートだと思っている。これからも町内外で活動を続けていきたい」と今後の意気込みを語りました。


手づくりのお香の特徴や魅力を丁寧に伝える鳩岡さん（奥）

戦没者を追悼し祈りを捧げる
恒久平和への思いを後世に

令和８年度町戦没者追悼式が９月29日、まき×まきホールで挙行され、戦没者の遺族など関係者約70人が出席しました。

鈴木重男町長は「先人が遺した平和への願いを受け継ぎ、幸せを実感できる町づくりに全身全霊を尽くしたい」と式辞を述べ、町遺族会の鷲塚勝治会長は「今後も戦争の悲惨さを後世に伝えていく」と伝承活動の継続を誓いました。その後出席者は故人に思いをはせ、恒久平和への祈りを込めて、菊の花を手向けました。


故人に哀悼の意を表して献花する出席者の皆さん


くずまきワインの歴史や山ぶどう栽培の現状などを学習

山ぶどうとワインを知る実地体験
農業の可能性について考える

山ぶどうとワインのお仕事見学会が10月15日、㈱岩手くずまきワインの関係施設などで行われ、県立農業大学校の学生10人が参加しました。

この日は、星野地区の山ぶどう圃場の見学やくずまきワインの事業紹介を実施。ワインの概要や歴史をひも解き、長く愛される特産品の魅力について学びました。大学で果樹の栽培などを学ぶ学生は「山ぶどう栽培の現状を知れた。気候変動に対応できる農業のあり方を考えてみたい」と笑みを浮かべました。


鈴木町長（手前）から交付金を受け取る小保内さん

新婚ライフサポート金交付式
充実した新生活を後押し

新婚ライフサポート金交付式が10月２日、くずま～る会議室で行われ、鈴木重男町長から１組の夫婦に交付金が手渡されました。

鈴木町長は「１人でも多くの若者が町に来て活躍していただけるよう、皆さんからも支援制度について情報発信してほしい」と呼び掛けました。交付を受けた小保内玲暢（れのん）さん（小田）は「新生活に必要な家電の購入や、町のおいしい食べ物をたくさん食べるために使いたい」と、今後の暮らしの充実に期待を寄せていました。